

1月は『新春特大号』
皆さまの記事をお寄せ下さい。
詳細のお知らせは
2面をご参照下さい。

たいとう

東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp
HP:http://doken-taito.jp
編集 遠藤 顕寛



勝利の瞬間 皆が湧く

十一連勝！ 責任を追及

11月11日、14時30分から厚生労働省前で「九州建設アスベスト訴訟福岡高裁判決日行動」が行われ、台東支部からは4名の参加（内、書記1名）でした。厚生労働省前では、関東各都県の全建連に所属する傘下団体等がアスベスト被害について訴えかけを行い、福岡高裁の判決を待ちました。判決告示は15時の予定でしたが、15分程遅れて「原告団勝利」の報告がなされました。集会参加者全員で厚生労働省に向かい、アスベスト被害について訴えを行ったあとと散会となり、引き続き行われる「判決報告集会」に参加のため、参議院会館に移動しました。会場では、最初に判決報告時の福岡高裁前の動画が放映され、原告団の喜びが会場全体に伝わり、集会参加者からも喜びの声が上がりました。しかし、残念なことには原告団の中で一人だけアスベスト被害と認められなかった仲間がいました。原告弁護団は「これから先、各地で行われる地裁、高裁での裁判に向けて、地域宣伝署名行動への一層取り組み強化が必要。友好労組団体への働きかけ、定例宣伝や署名行動を基本とし、全力を上げて取り組んで行きましょう。」と意見報告を行いました。

勝利の裏に

判決報告集会には、九州原告団（原告数54名 被害者28名）からの意見報告もありました。被害者遺族の女性は「主人は

14年前に肺がんで亡くなり、今回の勝利判決は、大変喜ばしく思います。報告を行っていきま

は、平成10年代より増え、これから先も10月）皆さんご奮闘お増加すると予想される問題です。裁判で部長としては、ただた

全面解決へ

組織拡大月間を振り返る

仲間の絆
勿論拡大行動の意味はありませぬ。行動を通じて組合員同士の繋

は、平成10年代より増え、これから先も10月）皆さんご奮闘お増加すると予想される問題です。裁判で部長としては、ただた

寺山邦裕（看板工）

新しい風を
その他にも皆さんに知らせしている、いろいろ活動も最終的には拡大に結びつけばいいなあと思いつつ企画を考えているんです



五重塔

「失言」と政治家
政治家に失言はつきもので、第一回国会議で既に起きている。歴史上、池田勇人蔵相の「貧乏人は麦を食え」吉田茂首相の「バカヤロー」等、例を挙げればキリがない。昭和2年3月片岡直温蔵相が「東京渡辺銀行が破綻（はたん）しました」と、うっかり口を滑らした為、金融恐慌発生、当の渡辺銀行をはじめ、30あまりの銀行が倒産休業した。そもそも、失言第一号が第一回帝国議会の招集日であった。その日衆議院本会議では、議長、副議長の選出が行われたが、揉めて收拾がつかなくなり、仮議長の曾禰荒助（そねあらすけ・初代内閣書記官長）が休憩を提案し「諸君は頭を冷やされては如何か」というような事を発言。これに議員らが怒り出し、一層揉めてしまった。結局仮議長が失言を詫びて事は収まったが、失言第一号が記念すべき第一回帝国議会の初日とは面白い。



寒空の中個人請願

11月20日、新宿中央公園「水の広場」で開催された、全都建設労働者対都要請行動に参加してきました。行動のメインは土建国保の予算確保ですので「予算要求集会」と普段は略しています。集会参加者は交渉団と一般参加者に分かれます。一般参加者は公園で集会の後、個人請願書を東京都に提出して終了です。交渉団は財務・福祉保健・都市整備・環境・産業労働・主税の東京都各局と都議会各会派に分かれて交渉に向かいます。台東支部からは福祉保健局・都

貸金引上げ！ 「予算確保を」

民ファーストの会・立憲民主党、民主クラブの交渉団に代表を送りました。

交渉は粛々と

私は立憲民主党、民主クラブの交渉団に加わりましたので交渉の様子をチラリと覗いてもらおうかなと思いつつ。立憲民主党、民主クラブは現在5人の会派です。交渉には全員が出席しました。台東区周辺の出身はいます。年代は70年代生まれ、まあまあ若いかな。土木建築業についてはいろいろ勉強をしています。答えに詰まることはありませんでした。議員からは現場の実態が知りたいんだとの要望が出されました。交渉はスムーズに進み、こちらの要望は理解してもらえたと思えます。

【教育宣伝部よりお知らせ】

一面上部にもございましたが1月は『新春特大号』です。皆様からの記事を大大募集します！採用された方にはもちろん1記事につきQUOカード500円分を差し上げます！「新年の抱負」「2019年の漢字」「家族のこと」「地域のこと」「趣味」なんでも構いません！どしどしお待ちしております(´0´)///
【締切】12月25日(水)



朝から大盛況



アイデア満載の作品

立憲民主党、民主クラブは如何せん人数が少なく議会内の存在感が小さいのが残念です。昨年にも増してエコに関心の省の病院再編で大変なことになるそうない程のイベントに成長区立台東病院を注視してきています。生涯学習センターのイベント会場は1階正面、1時間ほどの交渉を取り巻く道路、はあつという間に終公園、2、4階に分かり、交渉団は解散、協力団体・企業48つきました。松が谷分会 寺山邦裕(看板工)

地域を守れ！ チームNAMAZU

11月24日、東京土建墨田支部で「まちの救助チームNAMAZU」の大会に台東支部より3名参加しました。東武線曳舟駅より歩いて数分のところに「まちづくりコミュニティ」が「防災フェス」が開催されており、そこに参加体験します。まちづくりコミュニティは、京島2丁目にあります。

この日は住宅密集地であり、地震等の災害時に建物の倒壊や火災の危険度が、都内で2番目であるという「危険地域指定」を受けてしまったのです。そういった地域だからなのか、周辺の方々は、防災意識も高く、防災訓練等を定期的に行っているそうです。そんな地域を抱える墨田支部も、自然と防災への意識も高く、「災害時に動けるのは、地域の土木建築関係

墨田支部は、東京土建本部でチームNAMAZUとして発足するより前に防災チームを立ち上げ「ハンマーズ」と命名、現在でも呼称は変えず「誇りを持って活動している」と感じました。防災の基本は「自助」「共助」「互助」「公助」で、特に重要な「自助」は自分の命

自分で守ること。「共助」は自主防災組織「地域で救助活動すること。ここにチームNAMAZUやハンマーズの役割が必要不可欠になってくるのです。午後、墨田支部でハンマーズの様々な活動を聞き、防災意識や地域との関わり的重要性を学び、台東支部も負けてはいられないと感じた一日でした。松が谷分会 杉本良信

「この流れが続けば2日間より多い15000人の参加も見込める」との事務局発表が有り、運営側もより一層気合が入ります。各団体の意見発表でも

リピーター続出！！

イベントを迎えるには、多くの材料集めから始まります。○ドングリ9月の台風時季から4回程拾いに行き、煮詰め沸騰に浮く物、虫食等30%は廃棄↓3週間程乾燥↓ワックスで磨き上げ

前向きで建設的な発表で、チームワークの良さが伺われました。また、異業種交流、各企業間の情報交換やアイデア等、切磋琢磨して来年に向けエコに関心ある事業をお互いに探して居るところが頼もしく感じました。台東支部工作イベントの舞台裏を少しご紹介

「楽しくなければボランティアではない」と個人的には考えます。材料を揃え、準備しているその過程も楽しむ、当日になれば終わってしまった、嫌でも終了して行き、子どもたち笑顔や楽しみ待ってくださる方のため、来年もはりきって取り組みます。清川分会 比留間 哲(建具)